

2018 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	概括	1
II	部会関係	2
	1. ボイラ・原動機部会	3
	2. 鉱山機械部会	3
	3. 化学機械部会	4
	4. 環境装置部会	4
	5. タンク部会	16
	6. プラスチック機械部会	16
	7. 風水力機械部会	17
	8. 運搬機械部会	19
	9. 動力伝導装置部会	21
	10. 製鉄機械部会	22
	11. 業務用洗濯機部会	22
	12. エンジニアリング部会	23
III	委員会関係	24
	1. 政策委員会	24
	2. 労務委員会	25
	3. 貿易委員会	26
	4. 編集広報委員会	27
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	27
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	28
	7. 環境委員会	28
	8. エコスラグ利用普及委員会	30
IV	関西支部関係	31
V	共通基盤事業関係	36
VI	共通基盤活動関係	40

I 概括

2018年6月、一般社団法人日本産業機械工業会（以下、工業会という）は、創立70周年の節目の年を迎えた。わが国経済については、企業収益が総じて高水準を維持するもとで設備投資が増加するなど、緩やかな景気回復が続いたものの、年後半から中国経済の減速等の影響により輸出や生産が落ち込むなど、景気減速懸念が強まった。

他方、海外においては、米中貿易摩擦や新興国・資源国経済の動向、英国のEU離脱交渉の展開等リスク要因が多岐に亘り、世界経済の先行きに不透明感が高まった。

そのような状況のもと、当工業会の2018年度の受注は、外需の増加により、前年度比6.1%増の5兆2,275億円と4年ぶりに前年度を上回った。内需については官公需の減少により2年ぶりに前年度を下回ったものの、外需については北アメリカ、ロシア・東欧向けの増加により4年ぶりに前年度を上回った。

こうした中、当工業会は各部会・委員会活動を通じて、わが国経済の持続的成長、社会的課題の解決、産業機械産業の更なる発展に向けた各種事業に取り組んだ。

国際交流・技術協力の推進に関する事業では、海外貿易会議の開催準備や海外調査団の派遣等、今後の海外ビジネス環境の動向等について調査を行った。

標準化に関しては、日本工業規格（JIS）、国際標準化機構（ISO）、工業会規格（JIMS）等の規格の制定・改正に取り組んだ。

安全対策と産業事故等の防止については、「ロータリーブロー」「ポンプ」「メカニカルシール」ユーザ向けパンフレット・冊子の作成等を行った。

地球環境問題への取り組みについては、低炭素社会実行計画における2030年度のCO₂排出量の削減目標を引き上げ、地球温暖化対策の更なる推進を図った他、エコスラグの利用普及、優秀環境装置の表彰、環境装置・技術による環境負荷低減効果に関する調査研究等を行った。

調査研究については、「2020年に向けての産業用ボイラ需要動向と将来展望」作成、IoTを活用した環境装置産業、バイオマス発電、リサイクルの高度化等新たな環境ビジネスの創出に関する調査研究、射出成形機や動力伝導装置の欧州RoHS指令への対応に関する調査、クリーニング機械設備における関連法令に基づく届出書類一覧の作成等を行った。

その他、より良い企業間取引を構築するために適正取引の推進に向けた行動計画の見直しを図った他、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応等を行った。

これら事業等の実施にあたっては、関係省庁及び関連団体並びに多数の有識者から様々な形で協力を賜った。

ここに会員共々関係各位に厚く感謝の意を表するものである。

Ⅱ 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

2018年6月7日の部会総会において、次のとおり選任した。

部 会 長：高橋 祐二 三浦工業株式会社 代表取締役会長（再任）

副部会長：詫間 俊二 株式会社サムソン 専務取締役（兼）専務執行役員
営業本部長（再任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する受注等の統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 省エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. 一般財団法人石油エネルギー技術センターにて、石油製品需要の推移と動向等の調査を行った。

イ. 「低炭素設備リース信用保険」対象製品を選定し、一般社団法人低炭素投資促進機構に登録した。

ウ. 「2020年に向けての産業用ボイラ需要動向と将来展望」を発行した。

(4) 施設調査の実施

2018年9月24日に日本CCS調査株式会社苫小牧CCS実証センターを訪問し、CCS実証プロジェクトの説明及び施設を視察した。

(5) 海外動向調査の実施

2018年10月4日～8日にロシアへ視察団を派遣し、ALPHA Automotive Technologies, LLCを訪問し、車体部品のプレス生産及び組立工場の視察を行った。また独立行政法人日本貿易振興機構 モスクワ事務所より、ロシア経済、産業動向についてのブリーフィングを受けた。

(6) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。

ア. ISO/TC161（ガス及び/又は油用制御器及び防護装置）国内対策委員会及びWG

イ. ISO/TC109（オイル及びガスバーナー）国内対策委員会及びWG

2. 鉱山機械部会

(1) 統計調査の実施

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を把握した。

(2) 標準化の推進

JIS M 0103（ボーリング用機械・器具用語）の改正案を作成した。

(3) 機械安全の推進

ア．ボーリングマシンに関する「安全マニュアル」改訂版及びリスクアセスメントに係るガイドラインを引き続き作成した。

イ．破碎機及び選別機のリスクアセスメントに係るガイドラインを作成した。

(4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア．講演会

2018年7月27日に次の講演会を開催した。

テーマ：「罪作りの杭をなくすために」

講 師：桑原 文夫 殿 日本工業大学 名誉教授 工学博士

パイルフォーラム株式会社 取締役副社長

イ．施設調査

a．2018年6月21日

兼松エンジニアリング株式会社 明見工場を訪問し、特殊車両（高圧洗浄車等）の組み立てラインの視察をした。

b．2018年11月29日

株式会社キトー 本社工場を訪問し、チェーンの製造並びに巻上機組み立てラインの視察をした。

3. 化学機械部会

(1) 役員改選

2018年7月10日の部会総会において、次のとおり選任した。

部 会 長：槇島亀久夫 月島機械株式会社 代表取締役専務執行役員（再任）

副部会長：矢野 謙介 木村化工機株式会社 取締役

エンジニアリング事業部長（再任）

副部会長：今中 照雄 株式会社神鋼環境ソリューション 取締役常務執行役員

プロセス機器事業部長（再任）

(2) 標準化の推進

JIS B 8249 (多管円筒形熱交換器) の改正について、検討を行い、改正すべき事項の取りまとめを行った。

(3) 調査研究の実施

- ア. 化学機械分野における環境対応、省エネルギー技術の情報交換を行った。
- イ. 若手職員の育成のために基礎講座開催の検討を行い、開催要領を取りまとめた。

(4) 講演会の実施

2018 年 7 月 10 日に次の通り開催した。

テーマ：マクロ経済情報

講師：黒岩 長雄 殿 NK CORPORATION 代表

4. 環境装置部会

(1) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。

(2) 標準化の推進

当工業会が原案作成団体となっている環境関連JISについて、使用状況を調査すると共に、意見を聴取し改訂等の可能性のあるJISの絞り込みを行った。

(3) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

IoTを活用した環境装置産業のビジネスチャンス拡大に向け、関連する社会的課題の変化や近年の急激な技術的变化を踏まえ、環境装置産業の目指すべき将来イメージを描出すると共に、当該将来イメージ実現に向けた課題の抽出及び対応策等について検討し、環境装置産業が今後取るべきアクションの方向性を検討した。

ア. 講演会の実施

2019 年 3 月 4 日

テーマ：建設生産プロセスを変革するIoTオープンプラットフォームLANDLOG

講師：井川 甲作殿 株式会社ランドログ 代表取締役社長

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

ア. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

地球温暖化防止に向けた政策動向、次世代の蓄電池システム、CO2回収・貯留 (CCS) 技術、ブロックチェーンの仕組みを利用した再生可能エネルギーの取引、地域エ

エネルギー会社について情報収集を行った。また、今後の人口減少において地方自治体が抱える課題についても情報収集を行った。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

水環境分野等におけるIoT、AI活用に関する動向、海洋プラスチックごみ問題の現状及び我が国の取組、汚水処理の広域化・共同化の状況、ドローンを用いた下水道施設の調査点検技術、政府の水環境ビジネスに関する施策動向に関する情報収集を行った。

c. バイオマス発電に関する調査研究

バイオマス発電導入拡大の可能性を探るため、再生可能エネルギーの固定価格買取制度、エネルギーミックスやバイオマスに関する政策、脱炭素経営の動向、発電技術・事業の情報収集を行った。

d. 先端技術に関する調査研究

実用化に至っていない技術や、研究段階にある技術を「先端技術」と位置付け、その動向を調査した。

具体的には、2030年及び2050年に向けた国の政策やビジョン、IoTやAI、国内外の大学や企業における先端的な研究動向について情報収集を行った。

e. リサイクルの高度化に関する調査研究

家電や自動車等のリサイクル技術の高度化及び事業機会の創出を図るため、環境装置メーカーとリサイクル事業者との情報交換を行うと共に、ミックスプラスチックやシュレッターダスト等の混合廃棄物の利活用等に関する技術、中国の雑品スクラップ等の輸入制限による影響、日本国内の廃プラスチックのリサイクルに関する法制度について情報収集を行った。

f. セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 3Rリサイクルセミナー（2019年3月20日）

・講演

テーマ：中国における廃棄物処理に関する法制度の動向

講師：大野木昇司 殿 日中環境協力支援センター有限公司 取締役

テーマ：Introduction of Chiho environmental Group & Chinese

New Regulations and Macro Trends

講師：秦 永明 殿 齊合環保集团有限公司

Chairman, Chief Executive Officer and

Executive Director of the Company

テーマ：中国の廃棄物輸入規制の背景とその後の影響

講師：吉田 綾 殿 国立研究開発法人 国立環境研究所

資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員

テーマ：東京で起きている廃プラ問題の現状と見通し

講師：福田 隆 殿 東港金属株式会社 代表取締役

テーマ：日産の再生資源使用拡大に向けての取り組み

講師：出野 滋一 殿 日産自動車株式会社 サステナビリティ推進部

環境戦略グループ 主担

テーマ：家電混合プラスチックの高度選別技術と自己循環リサイクルの推進

講師：井関 康人 殿 三菱電機株式会社
リビング・デジタルメディア技術部
リサイクルグループ グループマネージャー

テーマ：プラスチック等の資源循環を巡る動向について（経済産業省による
商社等のアンケート結果）

講師：山本 恭太 殿 経済産業省 産業技術環境局
資源循環経済課 課長補佐

テーマ：外国政府による廃棄物の輸入規制等の影響と
環境省における今後の対応

講師：小岩 真之 殿 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課
総括補佐

・パネルディスカッション

テーマ：チャイナショックを乗り越えていくために、今何をすべきか

コーディネーター：大和田秀二 殿 早稲田大学理工学術院
創造理工学研究科 教授

パネリスト：大野木昇司 殿 日中環境協力支援センター有限会社
取締役

吉田 綾 殿 国立研究開発法人 国立環境研究所
資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員

福田 隆 殿 東港金属株式会社 代表取締役

出野 滋一 殿 日産自動車株式会社
サステナビリティ推進部
環境戦略グループ 主担

井関 康人 殿 三菱電機株式会社
リビング・デジタルメディア技術部
リサイクルグループ グループマネージャー

山本 恭太 殿 経済産業省 産業技術環境局
資源循環経済課 課長補佐

小岩 真之 殿 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課
総括補佐

大槻 文和 殿 環境ビジネス委員会 3R リサイクル研究会
会長

② 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2018年5月11日

テーマ：IoT 推進のための社会システム推進事業

～水道分野におけるサイバーフィジカルシステムの展開可能性に
ついて～

講師：田野中 新 殿 株式会社三菱総合研究所
環境・エネルギー事業本部

次世代環境ビジネスグループ 主席研究員

2018年5月16日

テーマ：特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律（バーゼル法）
の改正について

講師：田村 修司 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境指導室
越境移動管理官

2018年5月23日

テーマ：バイオマス発電の現状と課題、FITによる取扱いの方向性について

講師：菊島大二郎 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 課長補佐

テーマ：自治体新電力『ローカルエナジー』の取組紹介

講師：森 真樹 殿 ローカルエナジー株式会社 常務取締役

2018年5月28日

テーマ：水素社会における下水汚泥の有効利用

講師：田島 正喜 殿 鳥取環境大学 環境学部 環境学科 教授

2018年5月30日

テーマ：全固体型リチウムイオン電池（LIB）の現状と今後の展望

講師：小林 弘典 殿 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
エネルギー・環境領域 電池技術研究部門
蓄電デバイス研究グループ 総括研究主幹
研究グループ長

テーマ：リチウム空気二次電池の現状と課題

講師：久保 佳実 殿 国立研究開発法人 物質・材料研究機構
エネルギー・環境材料研究拠点
ナノ材料科学環境拠点
リチウム空気電池特別推進チーム
チームリーダー

2018年6月7日

テーマ：革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）

「進化を超える極微量物質の超迅速多項目センシングシステム」

講師：宮田 令子 殿 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
知的財産・技術移転グループ
医学、バイオ分野 特任教授

テーマ：今後の産業政策の方向性について

講師：中山 浩史 殿 経済産業省 経済産業政策局 産業再生課 係長

2018年8月3日

テーマ：IBM Watson ご紹介 最新情報

講師：元木 剛 殿 日本アイ・ビー・エム株式会社
理事 ワトソン・ソリューション担当

テーマ：産業界における AI 活用の現状と展望

講師：平 博司 殿 東芝デジタルソリューションズ株式会社
ソフトウェア&AI テクノロジーセンター
ディープラーニング技術開発部 参事

2018 年 8 月 8 日

テーマ：ASEAN 諸国と日本における今後の廃プラスチックリサイクル

講師：齋藤 剛 殿 株式会社パンテック 執行役員 営業本部長

2018 年 8 月 9 日

テーマ：ブロックチェーンの仕組みと応用

講師：千葉 重人 殿 株式会社 NTT データ
製造 IT イノベーション事業本部 企画部
方式技術担当 部長

テーマ：ブロックチェーン技術を活用した再エネ CO2 削減価値創出モデル
事業

講師：池本 忠弘 殿 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
地球温暖化対策事業室 室長補佐

2018 年 8 月 9 日

テーマ：廃棄物処理施設整備計画を中心とした廃棄物処理・資源循環・
エネルギー回収施策

講師：大沼 康宏 殿 環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課 課長補佐

2018 年 8 月 22 日

テーマ：2050 年に向けた気候変動対策

講師：安陪 達哉 殿 環境省 地球環境局 総務課
低炭素社会推進室 室長補佐

2018 年 8 月 28 日

テーマ：下水道への紙オムツ受入実現に向けた取組について

講師：阿部 千雅 殿 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
下水道企画課 下水道国際・技術調整官

テーマ：森林整備事業と関連施策について

講師：岸 功規 殿 農林水産省 林野庁 森林整備部 整備課
企画班担当課長補佐

テーマ：電力広域的運営推進機関における『日本版コネクト&マネージ』
導入に向けた取り組み

講師：藤岡 道成 殿 電力広域的運営推進機関 計画部長

2018 年 9 月 18 日

テーマ：カーボンプライシングについて

講師：清水 延彦 殿 環境省 大臣官房環境経済課 課長補佐

2018 年 9 月 19 日

テーマ：エネルギー基本計画について

講 師：赤松 寛明 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
長官官房総務課 戦略企画室 室長補佐

2018 年 9 月 21 日

テーマ：2030 年のエネルギーミックスと今後の展望

講 師：橘川 武郎 殿 東京理科大学大学院 経営学研究科 教授
東京大学・一橋大学 名誉教授

2018 年 9 月 27 日

テーマ：水環境 IoT ソリューションサービス KSIS

(KUBOTA Smart Infrastructure System)

講 師：末吉 康則 殿 株式会社クボタ 研究開発本部
計測制御技術センター KSIS 開発グループ長

テーマ：下水道への紙オムツ等の受け入れについて

講 師：森田 弘昭 殿 日本大学 生産工学部土木工学科 教授

2018 年 10 月 4 日

テーマ：SBSC (Sensor Based Sorting & Control) 2018 におけるソーティ
ング技術最新動向

講 師：大和田 秀二 殿 早稲田大学理工学術院 創造理工学研究科
教授

テーマ：小型縦型破砕機バリクラッシャーおよび破砕機用爆発抑制装置ハ
イパーガードの紹介

講 師：寺島 和重 殿 株式会社モリタ環境テック 技術部 技術部長

テーマ：プラスチック資源循環を巡る最近の動向について

講 師：山本 恭太 殿 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課
課長補佐

2018 年 10 月 9 日

テーマ：国土交通省政策ベンチャー 2030「日本を進化させる生存戦略」

講 師：末久 正樹 殿 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
流域管理官付 課長補佐

中根 達人 殿 国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課 調整官

テーマ：脱炭素イノベーションへの挑戦

～目の前リスクをチャンスに変える、発想転換で未来築く～

講 師：井上有希子 殿 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
併任 水・大気環境局 自動車環境対策課
課長補佐

河田 陽平 殿 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
地球温暖化対策事業室 先端技術班 班長
(総務課 低炭素社会推進室 併任)
室長補佐

2018 年 10 月 22 日

テーマ：エネルギー産業の 2050 年に向けた展望

～Utiliy3.0 時代に向けて

講師：伊藤 剛 殿 アクセンチュア株式会社
戦略コンサルティング本部
素材・エネルギーグループ統括
マネジング・ディレクター

2018 年 11 月 1 日

テーマ：SIP インフラメインテナンス維持管理、更新、マネジメント技術

講師：藤野 陽三 殿 横浜国立大学 先端科学高等研究院
上席特別教授

2018 年 11 月 9 日

テーマ：海洋プラスチックごみ問題の現状及び我が国の取組について

講師：福井 和樹 殿 環境省 水・大気環境局 水環境課
海洋環境室 室長補佐

2018 年 11 月 14 日

テーマ：ドイツ・インダストリー4.0 と米国・中国・日本

～AI・IoT 海外最新情勢について～

講師：尾木 蔵人 殿 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
国際アドバイザリー事業部 副部長

2018 年 11 月 26 日

テーマ：パリ協定を踏まえた地球温暖化対応政策の動向と今後

講師：秋元 圭吾 殿 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
システム研究グループ グループリーダー

2018 年 11 月 29 日

テーマ：環境省の脱炭素経営の支援について

講師：岸 雅明 殿 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
課長補佐（総括）

2018 年 12 月 5 日

テーマ：スーパーシュレッダーについて

講師：田崎 武久 殿 近畿工業株式会社 東京支店 営業部長

テーマ：国内外の資源循環政策の動向

講師：河田 悠 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
リサイクル推進室 主査

2019 年 1 月 16 日

テーマ：Global Startup Ecosystem を活用した新規事業の創出について

講師：中島 徹 殿 Mistletoe 株式会社
チーフ・インベストメント・オフィサー

2019 年 1 月 22 日

テーマ：下水道事業の持続的な運営に向けた広域化・共同化の取組

講師：宗 琢万 殿 国土交通省 水管理・国土保全局下水道部

下水道事業課 事業マネジメント推進室
課長補佐

テーマ：熱電変換素子を用いた未利用熱回収：熱電変換技術はどこまで
来たか

講師：太田 道広 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
エネルギー・環境領域 省エネルギー研究部門
熱電変換グループ 主任研究員

2019 年 1 月 23 日

テーマ：CCS の動向について

講師：高木 正人 殿 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE)
企画調査グループ 主席研究員

2019 年 1 月 30 日

テーマ：水処理膜の動向について

講師：豊原 大樹 殿 東レ株式会社 水処理部門 渉外グループ
担当部長

2019 年 2 月 7 日

テーマ：バイオ燃料研究が導く未来

講師：渥美 欣也 殿 株式会社デンソー
社会ソリューション事業推進部 共創推進室
担当部長

2019 年 2 月 14 日

テーマ：MAX-AI™ AI 搭載オートノマスロボット選別機のご紹介

講師：高橋 倫広 殿 株式会社大原鉄工所 企画開発営業部 部長

テーマ：雑品・廃プラなどの防災管理について

講師：横井 亮 殿 株式会社横井製作所 代表取締役社長

2019 年 2 月 18 日

テーマ：統計から見えてくる地域の未来

ー人口減少と消滅可能性都市のゆくえー

講師：小池 司朗 殿 国立社会保障・人口問題研究所
人口構造研究部長

テーマ：自治体戦略 2040 構想

～人口減少・超高齢社会における自治体の行政経営改革～

講師：植田 昌也 殿 総務省 自治行政局 行政経営支援室長（兼任）
2040 戦略室長

2019 年 2 月 26 日

テーマ：無人小型飛行体を活用した管きょ調査技術の実用化に関する
取組み

講師：浦部 幹夫 殿 株式会社日水コン 下水道事業部
東部事業マネジメント部

テーマ：ドローンを用いた下水施設の調査点検技術

講 師：稲垣 裕亮 殿 株式会社 NJS 開発本部
ドローン開発部 部長

2019 年 3 月 14 日

テーマ：「国内の火力発電の高効率化に関する政策動向について」

講 師：牧野 祐也 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 政策課
制度審議室/新エネルギーシステム課
課長補佐

2019 年 3 月 18 日

テーマ：再エネ主力電源化に向けての将来ビジョン

講 師：井上 裕史 殿 株式会社三菱総合研究所
環境・エネルギー事業本部
低炭素ソリューショングループ 主席研究員

③ 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査

2018 年 4 月 19 日

PV テクノサイクル株式会社
(太陽光パネルのリサイクルシステム)

2018 年 6 月 8 日

豊橋市バイオマス利活用センター
(バイオマス資源利活用施設整備・運営事業 (PFI))

2018 年 6 月 26 日

株式会社ナチュラルエナジージャパン 秋田メタン発酵ガス化バイオマス
発電所
(事業系の食品廃棄物のメタン発酵ガス化発電)

2018 年 6 月 27 日

クリーンプラザよこて
(秋田県内初の DBO によるごみ処理施設)
NKC ながいグリーンパワー株式会社 ながい発電所
(木質バイオマスガス化発電施設)

2018 年 6 月 28 日

株式会社北九州パワー
(清掃工場の電力を中心に販売する地域エネルギー会社)
みやまスマートエネルギー株式会社
(シュタットベルケの仕組みを日本版に発展させた先行事例)

2018 年 7 月 13 日

株式会社グリーンエナジー津 バイオマス発電所
(木質バイオマス発電所)

2018 年 7 月 20 日

富士山朝霧バイオマスプラント
(環境調和型バイオマス資源活用モデル事業)

2018 年 8 月 1 日

クリーンパーク折居

(燃焼画像認識システムや膜製の煙突などを導入したごみ焼却施設)

2018 年 8 月 2 日

京都大学生存圏研究所 矢野研究室

(セルロースナノファイバー材料一貫製造テストプラント)

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーション・センター

(最新技術を結集した、共創イノベーションを目的とした施設)

2018 年 8 月 10 日

株式会社京都環境保全公社 伏見環境保全センター

(産業廃棄物の高精度選別、RPF 製造、焼却施設)

カーボンファイバーリサイクル工業

[炭素繊維強化プラスチック (CFRP) リサイクル]

2018 年 8 月 23 日

国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

(再生可能エネルギー研究施設)

2018 年 9 月 20 日

電源開発株式会社 (J-POWER) 磯子火力発電所

(超々臨界 (USC) を用いた環境負荷低減とエネルギー効率向上を両立したコンパクトな都市型石炭火力発電所)

2018 年 9 月 26 日

秦野市浄水管理センター

[自己熱再生型ヒートポンプ式高効率下水汚泥乾燥技術実証事業 (B-DASH 事業)]

2018 年 11 月 8 日

東京工業大学 先導原子力研究所 加藤之貴研究室

(未利用排熱等熱利用に関する研究)

2018 年 11 月 16 日

JFE 環境株式会社 PM リサイクル工場およびパレット工場

(100%廃プラスチックを原料としたリサイクルパレット製造施設)

2018 年 11 月 27 日

北九州アッシュリサイクルシステムズ株式会社

(水洗による脱塩処理技術を採用した焼却飛灰処理施設)

2018 年 11 月 28 日

三池製錬株式会社 熔錬工場

(MF プロセスによる焼却飛灰処理施設)

2018 年 12 月 10 日

春日那珂川水道企業団 東限浄水場

(国内最大の浸漬式 PVDF 膜を採用した浄水場)

2018 年 12 月 12 日

株式会社グリーンサイクルシステムズ
（混合破砕プラスチックの高度選別処理施設）
株式会社ハイパーサイクルシステムズ 本社工場
（使用済家電製品・電子機器のリサイクル施設）

2018 年 12 月 18 日

露橋水处理センター
（下水の高度処理施設）
株式会社ささしまライブ 24DHC エネルギーセンター
（高度処理水を地域冷暖房の熱源、修景用水及び水質改善に活用する施設）
衣浦東部浄化センター
（下水汚泥燃料化施設）
中部電力株式会社碧南火力発電所
（石炭と下水汚泥炭化燃料の混焼発電施設）

2018 年 12 月 19 日

上越バイオマス循環事業協同組合
〔バイオマス変換施設（生ごみバイオガス化施設、下水汚泥乾燥設備、ペレット製造設備、BDF 設備）
上越市クリーンセンター
〔BOD 方式（公設民営方式）による廃棄物発電施設〕

2019 年 1 月 29 日

ガラスリソーシング㈱ 本社工場及び成田工場
（ガラスリサイクル施設及びペットボトル・廃プラスチック・缶類の分別施設）

2019 年 2 月 20 日

土佐グリーンパワー株式会社 土佐発電所
（未利用木材を利用した木質バイオマス発電施設）
株式会社富士クリーン 乾式メタン発酵施設
（国内最大規模の縦型乾式メタン発酵施設）

2019 年 3 月 7 日

オリックス資源環境株式会社 寄居工場内
（積水化学の“ごみ”をまるごと“エタノール”に変換する生産技術）

ウ．クリーンルーム関連情報等調査の実施

国内の市場動向等について情報収集を行った。

エ．環境装置・技術による環境負荷低減効果に関する調査研究

わが国の下水処理技術による環境負荷低減モデルを策定し、ASEAN諸国の主要都市における温室効果ガス削減及び清澄水削減効果を試算した。

ア．施設調査の実施

① 2018 年 12 月 13 日

恵庭市終末処理場（下水処理場における地域バイオマスの混合処理）

② 2018 年 12 月 14 日

北広島下水処理センター（下水処理場における地域バイオマスの混合処理）

(4) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイトで広く提供した。

(5) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2018年4月13日

テーマ：PPP/PFIの現状と将来展望

講師：川崎 昌和 殿 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 官民協働室／
政策研究業務企画部／公共経営・地域政策部
主任研究員

b. 2018年12月11日

テーマ：環境ビジネスのヒントにするための審議会情報（上期）について

講師：片山 裕太 殿 株式会社三菱総合研究所
環境・エネルギー事業本部
スマートコミュニティグループ 研究員

c. 2019年3月15日

テーマ：環境ビジネスのヒントにするための審議会情報（下期）について

講師：片山 裕太 殿 株式会社三菱総合研究所
環境・エネルギー事業本部
スマートコミュニティグループ 研究員

イ. 環境関連施設調査

a. 2018年10月15日

川崎重工業株式会社 西神戸工場（油圧機器・装置、舶用機械等製造施設）

b. 2018年10月16日

パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社（家電リサイクル工場）

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 環境省への協力

環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。

イ. 東京都への協力

民間と連携した揮発性有機化合物排出削減対策推進事業審査会に委員を派遣した。

ウ. 優良環境装置協議会への協力

優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。

エ. 関連団体への協力

一般社団法人産業環境管理協会、公益社団法人日本空気清浄協会、一般財団法人造水促進センター、日本産業洗浄協議会、一般財団法人日中経済協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

(1) 役員改選

2018 年 7 月 12 日の部会総会において、次のとおり選任した。

部 会 長：石井 宏明 株式会社石井鐵工所 常務取締役

鉄構事業統括本部長（新任）

副部会長：下前 功 トーヨーカネツ株式会社 取締役 副社長

執行役員社長補佐（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

産業動向等を把握するため、関連機械の動向の調査を行った。

(3) 標準化の推進

JIS B 8501（鋼製石油貯槽の構造）の改正の検討を行い、材質に関する問題点、確認事項の取りまとめを行った。

(4) 調査研究の実施

ア．タンク関連の災害対応技術、関連規格及び関連法令について情報収集を行った。

イ．タンク分野の国内、海外市場の動向について情報交換を行った。

(5) 施設調査の実施

2018 年 9 月 20 日に北陸電力株式会社 富山新港火力発電所を訪問し、LNG タンク、コンバインドサイクル発電設備など施設の視察を行った

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア．消防庁の危険物施設の長期使用に係る調査検討会に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

イ．消防庁の屋外貯蔵タンクの浮き屋根の安全対策に関するワーキンググループに委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

ア．関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

イ．射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の 3 機種について、主要ユーザ業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を公表した。

（２）標準化の推進

- ア．ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）について、国内審議委員会（射出成形機分科会、押出成形機分科会、ブロー成形機分科会、クランプシステム分科会）において国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。
- イ．JIS B 8650（プラスチック加工機械－用語）の改正について引き続き検討した。
- ウ．ISO 20430（射出成形機－安全要求事項）と整合する国内規格の制定に向けた検討を行った。
- エ．射出成形機の型締力オンサイト測定法の標準化可能性を引き続き検討した。

（３）機械安全の推進

射出成形機の周辺機器の設置に係る必須安全対策を検討した。

（４）関連情報収集等調査の実施

- ア．プラスチック機械に関する米国、中国及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。
- イ．二軸押出機の海外輸出規制に係る現状と課題について引き続き検討を行った。
- ウ．射出成形機の欧州RoHS指令への対応について調査及び検討を行った。

（５）国際交流の推進

欧州プラスチック機械工業会（EUROMAP）及び米国プラスチック産業協会（PLASTICS）と統計情報の交換を実施した。

（６）関連団体との交流

日本プラスチック機械工業会と情報交換等を行った。

７．風水力機械部会

（１）役員改選

2018年7月5日（木）に開催した部会総会において、次のとおり選任した。

副部会長：吉井 秀行 日立ポンプ製造（無錫）有限公司 董事長

（２）統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の把握に努めた。

（３）標準化の推進

- ア．JIS B 8341（容積型圧縮機－試験及び検査方法－）の改正案を引き続き検討した。
- イ．JIS B 8302（ポンプ吐出し量測定方法）、JIS B 8306（油用遠心ポンプ－油を用いる試験方法）、JIS B 8311（往復ポンプ－試験方法）、JIS B 8312（歯車ポンプ及び

- ねじポンプ試験方法)の改正案の検討を行った。
- ウ. ISO/TC115 (ポンプ) 国際回答原案の作成及び国際会議へ委員を派遣した。
- エ. JIS B 8327 (模型によるポンプ性能試験方法) の国際規格化作業を行い、ISO/TR19688 (Rotodynamic pumps – Hydraulic performance acceptance test using a model pump) として発行された。
- オ. ISO/TC117 (送風機) 及びISO/TC118 (圧縮機) に関する通知内容を確認・検討した。

(4) 機械安全の推進

- ア. ユーザ向けパンフレット「ロータリ・ブロワ (ルーツ式) メンテナンスのすすめ」を作成した。
- イ. ユーザ向けパンフレット「ポンプの取扱いガイドライン」を作成した。
- ウ. ユーザ向け冊子「メカニカルシールの取扱いとメンテナンス」の作成作業を継続した。

(5) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。

(6) 技術セミナー・講演会等の開催

- 次の技術セミナー等を開催した。
- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー (2018年7月3日)
 - テーマ：すべり軸受について
 - 講 師：富田 裕一 殿 大同メタル工業株式会社 第2カンパニー
TMBS事業部 TMBS設計室 汎用軸受グループ
 - テーマ：IoTについて
 - 講 師：宮地 康 殿 株式会社日立システムズ 産業・流通営業統括本部
第六営業本部 第四営業部
- イ. 送風機技術者連盟 技術講習会 (2018年9月13日)
 - テーマ：磁気軸受について
 - 講 師：笠 謙新 殿 日本エスケイエフ株式会社 東日本営業部
シニアアカウントマネージャー
 - テーマ：IoTの基礎知識と日立におけるIoTの取組みのご紹介
 - 講 師：北井 克佳 殿 株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス統括本部
営業統括本部 サービス営業推進本部
サービスプラットフォームサポートセンタ センタ長
- ウ. メカニカルシール講習会 (2018年7月25日、12月7日)
 - テーマ：メカニカルシールの基礎及びトラブル事例とその対策
 - 講 師：メカニカルシール委員会 技術分科会
- エ. プロセス圧縮機講演会 (2019年2月14日)

テーマ：TOYO の DX-PLANT™の取組みについて

講師：坂田 英二 殿 東洋エンジニアリング株式会社 事業開発本部
本部長代行

(7) 関係省庁及び関連団体への協力

- ア．国土交通省の要請に応じ、「公共建築工事標準仕様書 平成 28 年版」の改訂に協力した。
- イ．国土交通省の要請に応じ、「建築設備設計基準／計画基準 平成 28 年版」の改訂に協力した。
- ウ．東京都管工機材商業協同組合の要請に応じ、新人向け教材の原稿作成に協力した。
- エ．一般財団法人消防設備等安全センターの要請に応じ、加圧送水装置の技術基準の検討会に委員を派遣した。
- オ．公益財団法人日本下水道協会の要請に応じ、「下水道設計・計画基準の解説」の改定に協力した。
- カ．一般社団法人地域環境資源センターの要請に応じ、「農業集落排水施設設計指針」の改定に協力した。
- キ．一般財団法人ベターリビングの要請に応じ、「公共住宅建設工事共通仕様書」の改定に協力した。

8. 運搬機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を把握した。

(2) 標準化の推進

ア．JIS 規格への対応

- a. JIS B 8825 (仕分けコンベヤ)、JIS B 8850 (ベルトラッシング)、JIS B 8942 (立体自動倉庫システムー設計通則)、JIS B 8943 (立体自動倉庫ースタッカクレーン設計通則) の改正案を作成した。
- b. JIS B 0148 (巻上機ー用語)、JIS B 8808 (ポータブルコンベヤ)、JIS B 8811 (ラウンドスリング)、JIS B 8814 (ベルトコンベヤ用プーリ)、JIS B 8818 (ベルトスリング) の改正について検討した。
- c. シャトル台車式立体自動倉庫システムの JIS 規格化について検討を行った。

イ．ISO・IEC 等国際規格への対応

- a. ISO/TC111 (丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品) 及び TC111/SC3 (構成要素部品及び付属品) の国際幹事国として TC 及び SC の運営等を行った。
- b. ISO/TC111 国内審議団体として、シャックルに関する ISO 2415 の国際回答原案

の作成及び国際会議への対応を行った。

- c. ISO/TC111 国内審議団体として、吊り具の靱性評価方法に関する国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。

ウ. 団体規格への対応

- a. 「エレベーター回生電力」の利用指針を取りまとめた。
- b. 「ユニバーサルデザインを活かしたエレベーターガイドライン調査報告書(当工業会、平成 14 年)」に記載されたガイドラインの普及度を調査した。

(3) 機械安全の推進

- ア. コンベヤ及び立体自動倉庫のリスクアセスメントに係るガイドライン案を引き続き作成した。
- イ. 「大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドライン」について検討を行った。
- ウ. 立体自動倉庫「安全マニュアル スタッカクレーン編」改訂版作成について検討を行った。
- エ. 「チェーン・ローラ・ベルトコンベヤ、仕分けコンベヤ、垂直コンベヤ、及びパレタイザ検査要領書」の見直しを引き続き行った。

(4) 展示会等の開催の推進

2018 年 9 月 11 日～14 日東京国際展示場（東京ビッグサイト）において「国際物流総合展 2018/LOGISTECH TOKYO 2018」を主催者 7 団体の 1 つとして共催した。

(5) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

2018 年 7 月 20 日に次の講演会を開催した。

テーマ：「AI, IoT 時代における生産性向上と業務仕組化」について

講 師：大久保 寛基 殿 東京都市大学 知識工学部 経営システム工学科 准教授

イ. 施設調査

- a. 2018 年 6 月 15 日

秋田石油備蓄株式会社 男鹿事業所（秋田国家石油備蓄基地を訪問し、地中式備蓄タンク等の視察をした。

- b. 2018 年 8 月 24 日

JAXA 種子島宇宙センターを訪問し、大型ロケット発射場等の視察をした。

- c. 2018 年 9 月 6 日

株式会社 I H I エアロスペース 富岡事業所を訪問し、個体ロケットブースター製造等の視察をした。

- d. 2018 年 10 月 5 日

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 ミヨタ佐久工場を訪問し、ムーブメント（時計の駆動装置）の製造ラインの視察をした。

- e. 2018 年 10 月 12 日

日立風力保守トレーニングセンター、会津若松ウィンドファームを訪問し、2MW風力発電機の心臓部分内部と実機の視察をした。

f. 2018年10月25日

株式会社椿本チエイン 京田辺工場を訪問し、チェーン製造ライン等の視察をした。

g. 2018年11月1日

サントリー天然水 奥大山ブナの森工場を訪問し、天然水の製造工程の視察をした。

h. 2018年11月9日

九州電力株式会社 八丁原発電所を訪問し、地熱を利用した発電設備の視察をした。

i. 2019年3月15日

株式会社甲府明電舎を訪問し、モータの製造工程等の視察をした。

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、関係省庁及び一般財団法人日本規格協会等関連団体との交流を図った。

9. 動力伝導装置部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 関連情報収集等調査の実施

ア. 国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。

イ. 海外調査団（2018年10月11日～14日）

ベトナムに調査団を派遣し、以下の工場を見学すると共にベトナムの現状と課題、市場動向、将来展望等について意見交換を行った。

a. ACECOOK VIETNAM JOINT STOCK COMPANY（ホーチミン）を訪問してカップラーメンの製造工場の見学

b. VINA KYOEI STEEL CO., LTD.（ホーチミン）を訪問して建設用鉄筋丸棒等の製造工場の見学

(3) 国内外の規制等に関する調査の実施

ア. 海外各国の三相誘導電動機の効率規制について調査を行い、対応を検討した。

イ. 欧州 RoHS 指令への対応について調査を行い、対応を検討した。

10. 製鉄機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向、アメリカにおける鉄鋼関税、海外展示会について情報収集、調査等を行った。

(3) 講演会の実施

2018 年 9 月 21 日に次の講演会を行った。

テーマ 1：素形材産業の現状と課題

講師：秋元 祥代 殿 経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐

テーマ 2：鉄鋼業界の現状について

講師：中村 純也 殿 経済産業省 製造産業局 金属課 計画係長

テーマ 3：金属課の技術開発関連予算について

講師：大今 宏史 殿 経済産業省 製造産業局 金属課 金属技術室
室長補佐

(4) 関連行政機関及び関連団体等との交流

今後の製鉄機械業界及び鉄鋼業界の需要動向について、経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業と意見交換を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を実施し、産業動向等について調査・分析を行った。

(2) エネルギー及び環境関連の情報収集と対応策の検討

ア．環境、安全、衛生、及び省エネルギー対策技術の情報交換を行った。

イ．クリーニング機械設備における関連法令に基づく届出書類一覧を作成した。

(3) 関連分野の動向調査

国内、海外市場の動向を調査し、情報交換を行った。

(4) 施設調査の実施

2018 年 10 月 11 日に株式会社 TOSEI 本社工場を訪問し、クリーニング機械及びコインランドリー機械の視察を行った。

(5) 海外調査の実施

2018 年 10 月 19 日～10 月 22 日にイタリア・ミラノで開催された「Expo Detergo International」へ調査団を派遣し、海外業務用洗濯機の技術動向、需要等を調査を行った。

(6) 関連団体等との協力

日本クリーニング用洗剤同業会と技術動向について情報交換を行った。

12. エンジニアリング部会

(1) 調査研究の実施

水素利活用の推進に向けて、規制緩和の状況、環境負荷の少ない水素製造方法、水素需要拡大に向けての事業展開の動向等について調査を行った。

(2) 施設調査の実施

ア. 2018 年 9 月 10 日にコマツ IoT センタ東京を訪問し、最新の ICT 建機やドローン（無人ヘリ）等の説明を受けた。また、デモンストレーションの見学を行った。

イ. 2018 年 11 月 27 日に昭和電工株式会社川崎事業所扇町地区を訪問し、プラスチック・ケミカルリサイクルプラントの視察を行った。

(3) PCI/LF 委員会への協力

2005 年度より PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）委員会（日本機械輸出組合主催）の調査研究に参加し、2018 年度版の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

(1) 委員会

2018年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

ア. 第500回（2018年4月18日）

- a. 2017年度事業報告（案）及び2017年度決算報告（案）
- b. 決議（案）
- c. 定款の変更（案）
- d. 適正取引自主行動計画推進委員会の設置（案）
- e. 2018年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

イ. 第501回（2018年6月13日）

ウ. 第502回（2018年7月18日）

a. 講演

テーマ：エネルギー基本計画について

講 師：北村 健太 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総務課
戦略企画室 室長補佐

エ. 第503回（2018年9月12日）

2019年度税制改正要望（案）

オ. 第504回（2018年10月17日）

関西大会における提言（案）

カ. 第505回（2018年12月12日）

「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告

キ. 第506回（2019年2月13日）

- a. 2019年度政策委員会事業計画（案）
- b. 2019年度産業機械の受注見通し（案）

ク. 第507回（2019年3月13日）

- a. 2019年度事業計画（案）及び2019年度収支予算（案）
- b. 「産業機械工業の低炭素社会実行計画」
- c. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の見直し（案）

(2) 税制小委員会

2019年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

(1) 委員会

雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、次のとおり開催した。

ア. 2018 年 7 月度委員会 (7 月 31 日)

- a. 2018 年度賃金・夏季賞与状況
- b. 「働き方改革」への取組状況
- c. PRA (Robotic Process Automation) の導入事例
- d. 女性の事務服廃止
- e. ハマキョウレックス事件、長澤運輸事件の最高裁判判決を受けて
- f. フリーアドレス導入の留意点

イ. 2018 年 10 月度委員会 (10 月 31 日)

- a. 2018 年度年末賞与状況
- b. 2019 年度採用状況
- c. 健康診断後の有所見者の要精検や要治療者に対するフォロー
- d. 上司による業務把握・時間管理の方法
- e. 中期経営計画のキーワード「変化」に対しての取組み
- f. 外国人の採用と待遇
- g. 国内旅費規程の日当条件
- h. 労働組合執行委員経験者の待遇
- i. 有給休暇 5 日義務化への対応

ウ. 2018 年 12 月度委員会 (12 月 4 日)

- a. 2018 年度年末賞与状況
- b. 現在及び今後の課題、改革に向けた取組み
- c. インフルエンザ予防接種

エ. 2019 年 3 月度委員会 (3 月 29 日)

- a. 2019 年度賃金・夏季賞与状況
- b. 働き方改革関連法施行に伴って起こる影響等
- c. 初任給の現状と今後の予定
- d. 健康診断の各社実施状況

(2) 労働・雇用状況等の調査

労働、雇用に関する調査を行った。

ア. 2018 年度賃金状況調査

イ. 2018 年度夏季賞与状況調査

- ウ．2018 年度年末賞与状況調査
- エ．一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力
 - ａ．2018 年度福利厚生費調査
 - ｂ．業種別賃金・労務厚生等調査

3．貿易委員会

（１）役員改選

役員改選期に伴い、2018 年 7 月 3 日の委員会において、次のとおり選任した。

委員長：芝山 直 日立造船株式会社 取締役 機械事業本部長（新任）

（２）産業機械貿易振興事業

ア．ジェットロ・ウィーン及びシカゴ・事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。

ウィーン担当：尾森 圭悟（2018 年 5 月赴任、前任者：藤田 侑士）

シカゴ担当：小川ゆめ子（2018 年 6 月赴任、前任者：高橋 貴洋）

イ．北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。

ウ．産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

（３）産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

ア．海外市場等に関する調査

イギリスの EU 離脱等により欧州市場が注目を集める中、ドイツ、イギリスの経済、貿易動向、投資動向、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。

イ．経済連携協定等に関する動向調査

TPP11 協定及び日・EU 経済連携協定に関する動向について情報収集を行った。

（４）海外貿易会議への協力

経済産業省主催の海外貿易会議（産業機械）の幹事団体として、2019 年の開催に向け、内外関連機関と協力しつつ、欧州における産業機械の需給動向、投資状況等に関する情報収集を行い、貿易会議開催候補地の選定を行うと共に現地事前調査を行った。

（５）講演会の開催

2018 年 7 月 3 日

テーマ：英国の EU 離脱（BREXIT）交渉の動向

講 師：藤田 侑士 殿 日立造船株式会社
環境事業本部 グローバル事業統括部
Vプロジェクトグループ 課長代理
(前ウィーン駐在員)

テーマ：米トランプ政権の通商政策の動向

講 師：高橋 貴洋 殿 経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部
安全保障貿易国際室 国際係長
(前シカゴ駐在員)

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

- ア. 各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。
- イ. 海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

(1) 委員会

延べ2回の委員会を開催し、次の事項について審議を行った。

ア. 2018年度第1回(2018年10月3日)

- a. 月刊機関誌「産業機械」2018年の編集方針、年間テーマ
- b. 月刊機関誌「産業機械」2018年12月号その他特集
- c. 月刊機関誌「産業機械」会員トピックス掲載内容

ウ. 2018年度第2回(2018年12月5日)

- a. 月刊機関誌「産業機械」会員トピックス掲載内容
- b. 月刊機関誌「産業機械」2019年12月号その他特集
- c. 工業会ホームページのリニューアル

(2) 施設調査の実施

防衛省 防衛装備庁 艦艇装備研究所の視察を2018年12月3日に実施した。

5. 産業機械工業規格等調査委員会

(1) 委員会の開催

次の通り年2回委員会を開催し、機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。またJIMS定期見直しの検討を行った。

ア．2018 年 8 月 29 日

イ．2019 年 2 月 21 日

(2) 規格関連の情報提供

ア．一般財団法人日本規格協会 JIS 公募用紙変更

イ．ロボット革命イニシアティブ協議会 IEC/Systems Committee Smart Manufacturing 国内委員会委員募集

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2018 年 4 月 6 日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者 13 名を表彰候補者として選出し、第 585 回理事会（書面）（2018 年 4 月 27 日）へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 委員会

ア．第77回委員会（2018年6月13日）

2018年度事業計画及び2017年度事業報告の確認、2018年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査）、施設調査等について審議を行った。

イ．第78回委員会（2019年2月1日）

2018年度の定例調査の集計結果、環境活動報告書等について報告を行った。

ウ．第79回委員会（2019年3月6日）

「産業機械工業の低炭素社会実行計画」2030年度CO2排出量の削減目標の見直し（案）について審議を行った。

(2) 幹事会

2018年12月13日に開催し、次の事項について審議を行った。

ア．「VOC大気排出実績調査結果」2018年度調査集計結果

イ．「産業機械工業の低炭素社会実行計画」2018年度定例調査集計結果

ウ．「産業機械工業の循環型社会形成自主行動計画」2018年度定例調査集計結果

エ．「環境活動基本計画」目標達成に向けて（運営幹事会への報告事項）

オ．2018年度環境活動報告書

(3) ワーキンググループの活動

ア．VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主管理のあり方について検討した。

イ．環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。
また、2030年度のCO2排出量の削減目標の見直し（案）について検討を行った。

ウ．環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2018年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

（４）内外動向の調査研究

ア．定例調査等の実施

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2018年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2019年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

イ．施設調査等の実施

海外における環境問題、特に会員企業を取り巻く事業環境等の最新状況を調査するため、2018年11月1日～11月3日にベトナムで施設調査等を実施し、Mitsui Thang Long Steel Construction Company Ltd.の鋼構造物（橋梁、鉄骨、鉄管等）の製造工場、Sumitomo Heavy Industries (Vietnam) Co., Ltd.のギアモータとモータ及びそれら関連部品の製造工場、MHI Aerospace Vietnam Co., Ltd.（MHIVA）の民間航空機部品（ボーイング737フラップ等）の組立・生産工場を訪問した。

また、独立行政法人日本貿易振興機構ハノイ事務所の所長 北川浩伸殿より、ベトナムにおける産業動向及び環境関連法規制等について説明を受けた。

（５）関係行政機関及び関連団体への協力

ア．経済産業省

産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等ワーキンググループ（2019年2月22日）において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

イ．一般社団法人日本経済団体連合会

環境自主行動計画（循環型社会形成編）・低炭素社会実行計画の2018年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

（６）報告書等の取りまとめと情報提供

委員会活動において、「2018年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ、関係機関等へ提出すると共に、講演会を開催し、会員企業への情報提供に努めた。

8. エコスラグ利用普及委員会

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進に必要な事業を企画立案すると共に、エコスラグの標準化及び利用普及の推進活動を行った。

また、関係行政機関に協力し、専門家の派遣等利用普及事業の推進を支援した。

（１）標準化の推進

ア．講師の派遣

エコスラグに関するJIS改正の説明を行うため、以下の講習会等に講師を派遣した。

- a．2018年9月、リサイクルポート推進協議会主催「循環資源説明会」

（２）利用普及の推進

ア．「エコスラグ有効利用の現状とデータ集（2017年度版）」を2018年5月に発行した。

イ．エコスラグに関する調査

- a．焼却・溶融施設の調査を行うとともに、スラグ有効利用等の意見交換を行った。

- ① 滋賀県東北部浄化センター（2018年8月）（滋賀県）
- ② 中部清掃組合・日野清掃センター（2018年8月）（滋賀県）
- ③ 宮城大学 北辻研究室（試験研究の調査）（2018年9月）（宮城県）
- ④ 仙南クリーンセンター（2018年9月）（宮城県）
- ⑤ メルテックいわき（株）（2018年11月）（福島県）
- ⑥ 常総環境センター（2018年11月）（茨城県）
- ⑦ 那覇市・南風原町クリーンセンター（2018年12月）（沖縄県）
- ⑧ 宇部市環境保全センター（2019年2月）（山口県）
- ⑨ 玄海環境組合古賀清掃工場（2019年2月）（福岡県）

- b．溶融スラグ利用先を調査し、有効利用に関する課題と対策等の情報交換を行った。

「大和コンクリート工業（株）（2018年12月）」

ウ．自治体に対するスラグ利用普及支援

- a．自治体連絡会の開催

2018年10月18日京都市勧業館「みやこめっせ」大会議室で開催し、産官学の情報交換・情報共有を行った。

- b．自治体連絡会施設見学会の開催

2018年10月19日吹田市資源循環エネルギーセンターで開催し、溶融施設の見学及び有効利用に関する情報共有を行った。

- c．「自治体通信」の発行

年1回の「自治体通信」を2018年2月に発行し、有効利用の情報共有を行った。

エ．外部への情報発信

- a．エコスラグ関連記事投稿

- ① 産業機械 No. 813（2018. 6）
- ② 廃棄物資源循環学会誌 Vol. 29 (No. 5, 2018)

③ 環境浄化技術 2018年11・12月号

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2018年6月14日に次のとおり選任した。

部会長：中邑 三郎 株式会社ヒラカワ 常務取締役 滋賀事業所長（再任）

副部会長：森 秀之 株式会社IHI汎用ボイラ 関西支店長（再任）

(2) 講演会の開催

2018年9月19日に次のとおり開催した。

テーマ：最近の近畿経済の動向について

講師：前田 浩文 殿 経済産業省近畿経済産業局 総務企画部 企画調査課長

(3) 施設調査の実施

2018年7月18日に株式会社関電エネルギーソリューション（大阪市）を訪問し、中之島フェスティバルタワーにおける「河川水利用熱供給システムと蓄熱槽」の見学を行った。

(4) 東西合同会議

2018年10月4日～8日に開催し、モスクワ（ロシア）のALPHA Automotive Technologies, LLCを訪問し、自動車車体部品のプレス生産及び組立工場を見学した。

また、ジェットロ・モスクワ事務所を訪問した。

2. 化学機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2018年9月13日に、次のとおり選任した。

部会長：小林 康真 木村化工機株式会社 取締役社長（再任）

副部会長：栗田 佳直 株式会社栗田機械製作所 取締役社長（再任）

副部会長：正木 恵之 三菱化工機株式会社 執行役員 大阪支社長（再任）

(2) 講演会の開催

2018年9月13日に次のとおり開催した。

ア．テーマ：平成30年度「ものづくり日本大賞の募集について」

講 師：小橋 厚司 殿 経済産業省近畿経済産業局 産業部 製造産業課長

イ．テーマ：「産総研関西センターの概要」について

講 師：中村 徳幸 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター
産学官連携推進室長

(3) 施設調査の実施

2018年9月13日に国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター（大阪府池田市）を訪問し、蓄電池、ダイヤモンド、高機能ガラスの研究内容及び施設の説明を受けた。

3. 環境装置部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2018年7月12日に、次のとおり選任した。

部 会 長：内山 典人 株式会社タクマ 常務執行役員

エンジニアリング統括本部 設計センター長（再任）

副部会長：山本 和久 日立造船株式会社 取締役 環境事業本部長（再任）

副部会長：佐藤 淳 株式会社クボタ 水環境総合研究所

水環境開発第三部長（再任）

副部会長：平野 悟 株式会社ササクラ 常務取締役（再任）

(2) 講演会の開催

2018年7月12日に次のとおり開催した。

ア．テーマ：パリ協定のもとでの温暖化対策（政策委員会と共催）

講 師：新澤 秀則 殿 兵庫県立大学経済学部 教授

イ．テーマ：対向流燃焼方式を適用した廃棄物焼却

講 師：傳田 知広 殿 J F Eエンジニアリング株式会社
総合研究所 主任研究員

ウ．テーマ：無曝気循環式水処理装置

講 師：宮田 篤 殿 メタウォーター株式会社

事業戦略本部事業企画部 技師長

(3) 施設調査の実施

2018年10月2日に、ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社（秋田県秋田市）を訪問し、バイオマス発電事業への取組経緯や地域経済への影響、原料調達手法や施設概要を解説頂き、再生可能エネルギーへの取組やバイオマス発電施設を見学した。また、秋田県産業技術センター（秋田県秋田市）を訪問し、今後の地域企業への技術移転・技術開発を担っているセンターの位置づけ、地域技術開発支援への取組について研修した。

4. 風水力機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2018年9月5日に、次のとおり選任した。

部会長：辻本 治 株式会社鶴見製作所 取締役社長（再任）

副部会長：岩波 清久 日本ピラー工業株式会社 取締役社長（再任）

副部会長：井上 貴雄 株式会社荏原風力機械 取締役社長（再任）

副部会長：佐上 栄介 三國重工業株式会社 取締役社長（新任）

(2) 講演会の開催

2018年9月5日に次のとおり開催した。

テーマ：「ロボット・AI が生み出す第四次産業革命の期待と課題」

～欧米に加えて AI 強国中国とどう戦うのか～

講師：本田 幸夫 殿 大阪工業大学 工学部ロボット工学科 教授

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 講演会の開催

2018年5月14日に次のとおり開催した。

テーマ：KANSAI 2025 創る未来・繋ぐ世界

講師：小橋 厚司 殿 経済産業省近畿経済産業局 産業部 製造産業課 課長

(2) 施設調査の実施

2018年10月19日に、株式会社島精機製作所（和歌山県和歌山市）を訪問し、手袋編機の自動化を手始めにニット編機の変遷、今後の取組み等の概要説明を受けた後、コンピュータ横編機、デザインシステムの製造工程、緑化工場（総理大臣賞受賞）の施設見学を行った。また、和歌山県特産の梅干し工場（中田食品株式会社和歌山県田辺市）を訪問し、生産管理（認定シンボルマーク制度）や食品安全品質保証について説明を受けた。

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年8回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

また、下記のとおり講演会を開催した。

(1) 2018年7月12日（環境装置部会との共催）

テーマ：パリ協定のもとでの温暖化対策

講 師：新澤 秀則 殿 兵庫県立大学経済学部 教授

(2) 2018 年 9 月 28 日

テーマ：2018 年度関西地域設備投資計画調査について

講 師：田口 学 殿 株式会社日本政策投資銀行 企画調査課長

7. 労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため次の会議等を実施すると共に、意見交換を行った。

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2018年6月8日に、次のとおり選任した。

委 員 長：巻幡 俊文 日立造船株式会社 業務管理本部 人事部長（新任）

副委員長：後藤 吉弘 株式会社ダイフク 総務部 部長（再任）

副委員長：田口 幸司 日本スピンドル製造株式会社 業務室 総務部長（再任）

(2) 委員会

ア. 第1回委員会

2018 年 6 月 8 日に開催し、次の講演会を開催し、意見交換を行った。

テーマ：L G B T の現状と企業の取組

講 師：井上 鈴佳 殿

イ. 第2回委員会

2018 年 11 月 29 日に委員会を開催すると共に株式会社ダイフク滋賀事業所（滋賀県蒲生郡）を訪問し、総合展示場「日に新た館」、メガソーラー発電施設、システムサポートセンターを見学した後、会社概要、これまでの取組等について説明を受けた後、意見交換を行った。

ウ. 第3回委員会

2019 年 3 月 7 日に開催し、「働き方改革関連法案への取組」の次の事項について報告及び意見交換を行った。

a. 2019 年 4 月 1 日から実施する項目

b. 労働時間に関する制度の見直し

8. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 関西大会懇親会

リーガロイヤルホテルにおいて、2018 年 11 月 15 日の関西大会終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて 2019 年 1 月 10 日に開催した。

9. 各種調査への協力

一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所が実施した関西団体協議会に出席し、活動方針の意見交換や施設調査等を行った。

V 共通基盤事業関係

1. 総会における決議、関西大会における提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2018年5月）
- (2) 日本経済の持続的成長に向けて（関西大会政策提言）〔関西大会（第589回理事会、第60回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2018年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2019年度産業機械の受注見通し（2019年2月28日公表）

3. 風力発電関連機器産業等新エネルギー関連分野の調査研究

- (1) 風力発電関連機器産業に関する生産規模などのアンケート調査を実施し、「風力発電関連機器産業に関する調査研究報告書（2019年3月）」として取りまとめた。
- (2) 2018年6月「第6回風力発電関連産業セミナー」を「洋上風力発電の導入拡大に向けた風力発電産業のチャレンジ〜ついに動き出した洋上風力発電〜」をテーマとして実施した。

4. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

- (1) フォローアップ調査の実施
中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえて、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』として9月に実施した。なお、調査結果は11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員企業の新たな取組事例をデータベース化し、会員各社と情報共有を図った。
- (2) 行動計画の見直し
下請中小企業振興法に基づく「振興基準」の改正等に対応するため、行動計画の一部見直しを行った。

5. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974（昭和49）年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2018年度（第45回）は、全国から11件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、表彰する。

なお、2017年度事業（第44回）において優秀と評価された環境装置について、2018年6月20日に表彰式を行った。

また、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計28名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

表彰対象装置及び受賞者は次の通り。

(1) 経済産業大臣賞

装置名：対向流燃焼方式を適用した廃棄物焼却炉

受賞者：JFE エンジニアリング株式会社

(2) 経済産業省産業技術環境局長賞

装置名：無曝気循環式水処理装置

受賞者：高知市上下水道局（共同申請）

国立大学法人 高知大学（共同申請）

日本下水道事業団（共同申請）

メタウォーター株式会社（共同申請）

(3) 中小企業庁長官賞

装置名：自動切粉破碎圧縮機

受賞者：株式会社クリエイトエンジニアリング

(4) 日本産業機械工業会会長賞

装置名：古紙利用汚泥燃料化システム

受賞者：三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

装置名：セレン処理装置

受賞者：栗田工業株式会社

装置名：バラスト水処理装置（HK）

受賞者：三浦工業株式会社

装置名：圧入式スクリーンプレスによる濃縮一体化脱水システム

受賞者：日本下水道事業団（共同申請）

株式会社 石垣（共同申請）

6. 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置について、設備メーカー（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

7. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

(1) 月刊機関誌「産業機械」の発行

2018 年は「快適な未来へ、進化する産業機械」を、2019 年は「働き方改革と産業機械」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

2018 年 4 月号 (No. 811)	プラスチック機械
2018 年 5 月号 (No. 812)	環境装置①
2018 年 6 月号 (No. 813)	環境装置②ーエコスラグー
2018 年 7 月号 (No. 814)	当工業会が実施した研究事業の概要
2018 年 8 月号 (No. 815)	風水力機械①
2018 年 9 月号 (No. 816)	風水力機械②
2018 年 10 月号 (No. 817)	ボイラ・優秀環境装置①
2018 年 11 月号 (No. 818)	化学機械・タンク・優秀環境装置②
2018 年 12 月号 (No. 819)	業務用洗濯機・SDGs・ESG への取り組み
2019 年 1 月号 (No. 820)	経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、 委員長、部会長年頭所感
2019 年 2 月号 (No. 821)	鋳山機械・製鉄機械
2019 年 3 月号 (No. 822)	運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト (<http://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

また、ウェブサイトのリニューアルに向けて、掲載内容等を検討し、作業を行った。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2018年5月17日、ホテルオークラ東京において開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2017年度事業報告承認の件
- イ. 2017年度決算報告承認の件
- ウ. 2018年度事業計画決定の件
- エ. 2018年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- カ. 定款変更の件
- キ. 役員改選の件

経済産業省 製造産業局長 多田 明弘殿より挨拶があった。

総会終了後、2018年度産業機械工業功績者表彰式を行った。

また、同表彰式終了後、会員始め多数の来賓を迎え、定時総会パーティを創立70周年記念の祝賀パーティと合同で開催した。

(2) 理事会

2018年度に次のとおり6回開催し、各議案について審議を行った。

- ア. 第585回理事会（書面審議）（2018年5月28日）
 - a. 2017年度事業報告（案）及び2017年度決算報告（案）
 - b. 決議
 - c. 定款の変更
 - d. 新入会員
 - e. 2018年度産業機械功績者表彰受賞候補者
 - f. 2018年度定時総会の招集
- イ. 第586回理事会（2018年5月17日）
 - a. 会長、副会長、支部長、専務理事及び常務理事選任
 - b. 常任幹事、幹事の選任
 - c. 2017年度下期工業会活動状況
- ウ. 第587回理事会（書面審議）（2018年6月27日）
 - a. 常任幹事・幹事の補充選任（案）
 - b. 顧問の委嘱（案）
- エ. 第588回理事会（書面審議）（2018年10月5日）

- a. 常任幹事・幹事の補充選任（案）
- b. 平成 31 年度税制要求の決議（案）
- オ. 第 589 回理事会（2018 年 11 月 15 日）
 - a. 幹事補充選任
 - b. 政策提言－日本経済の持続的成長に向けて（案）
 - c. 2018 年度上期工業会活動状況
- カ. 第 590 回理事会（書面審議）（2019 年 3 月 29 日）
 - a. 2019 年度事業計画（案）及び 2019 年度収支予算（案）
 - b. 幹事補充選任
 - c. 「産業機械工業の低炭素社会実行計画」
 - d. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の見直し
 - e. 関連規程等の整備

（3）運営幹事会

2018 年度に次のとおり 9 回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外駐在員の近況報告、当工業会の活動状況等について報告を行った。

- ア. 第 55 回運営幹事会（2018 年 4 月 25 日）
 - a. 講演
 - テーマ：最近の環境負荷低減に向けた政策動向について
 - 講 師：田中 秀明 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境指導室長
 - b. 2017 年度事業報告（案）及び 2017 年度決算報告（案）
 - c. 決議（案）
 - d. 定款の変更（案）
 - e. 新入会員
 - f. 2018 年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）
- イ. 第 56 回運営幹事会（2018 年 6 月 20 日）
 - a. 講演
 - テーマ：日中第三国市場協力について
 - 講 師：藤本 武士 殿 経済産業省 貿易経済協力局 総務課 課長
 - b. 常任幹事補充選任
 - c. 委員長・部会長の委嘱
- ウ. 第 57 回運営幹事会（2018 年 7 月 25 日）
 - a. 講演
 - テーマ：通商白書 2018 概要
 - 講 師：原 健太郎 殿 経済産業省 通商政策局 企画調査室 課長補佐
 - b. 委員長・部会長の委嘱
- エ. 第 58 回運営幹事会（2018 年 9 月 26 日）
 - a. 講演
 - テーマ：株対価 M&A 等の事業再編の支援とコーポレートガバナンス改革の最近の動き

- 講 師：坂本 里和 殿 経済産業省 経済産業政策局 産業組織課 課長
- b. 常任幹事・幹事補充選任
 - c. 2019 年度税制改正要望（案）
- オ. 第 59 回運営幹事会（2018 年 10 月 23 日）
- a. 関西大会の開催
- カ. 関西大会（第 589 回理事会、第 60 回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）
（2018 年 11 月 15 日）
- a. 講演
テーマ：日本のこれからの課題と関西経済
講 師：森 清 殿 経済産業省 近畿経済産業局長
 - b. 幹事補充選任
 - c. 政策提言－日本経済の持続的成長に向けて（案）
 - d. 2018 年度上期工業会活動状況
- キ. 第 61 回運営幹事会（2018 年 12 月 19 日）
- a. 講演
テーマ：ブレグジット交渉の現状と対応の方向性
講 師：白井 俊行 殿 経済産業省 通商政策局 欧州課
通商政策企画調査官
 - b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
 - c. 新年賀詞交歓会
- ク. 第 62 回運営幹事会（2019 年 2 月 20 日）
- a. 講演
テーマ：経済成長と両立した地球温暖化対策について
講 師：亀井 明紀 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境経済室長
 - b. 2019 年度産業機械の受注見通し（案）
- ケ. 第 63 回運営幹事会（2019 年 3 月 20 日）
- a. 講演
テーマ：EPA・FTA の推進と活用
講 師：山口 仁 殿 経済産業省 通商政策局 経済連携課長
 - b. 幹事補充選任
 - c. 2019 年度事業計画（案）及び 2019 年度収支予算（案）
 - d. 「産業機械工業の低炭素社会実行計画」
 - e. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の見直し（案）

（４）会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行うため、2019 年 3 月 12 日に開催し、産業機械業界の景気動向、2019 年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

（５）会長、委員長、部会長会議（2018 年 12 月 19 日）

各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

(6) 監事監査 (2018 年 4 月 24 日)

2017 年度の事業報告及び決算報告について、黒木監事 (NOK 株式会社)、田中監事 (一般財団法人日本品質保証機構) によって監査が行われた

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

ホテルオークラ東京において、2018 年 5 月 17 日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式の終了後に、創立 70 周年記念の祝賀パーティと合同で開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

ホテルオークラ東京において、2019 年 1 月 9 日に開催した。来賓を代表され、経済産業省 製造産業局長 井上宏司殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2018 年度産業機械工業功績者の表彰

2018 年 5 月 17 日の定時総会において、次のとおり表彰した (表彰順)。

(氏 名)	(会 社 名)	(推薦部会・委員会)
飯島 久 殿	株式会社荏原製作所	編集広報委員会
大槻 文和 殿	株式会社アーステクニカ	環境装置部会
金戸 憲康 殿	アイナックス稲本株式会社	業務用洗濯機部会
菊川 健治 殿	株式会社日本製鋼所	プラスチック機械部会
桑野 博之 殿	パナソニックエコシステムズ株式会社	風水力機械部会
小橋 亙 殿	日立造船株式会社	貿易委員会
澁谷 榮一 殿	J F E エンジニアリング株式会社	環境装置部会 エコスラグ利用普及委員会
鈴木 宏 殿	株式会社荏原製作所	風水力機械部会
鈴木 実 殿	住友重機械工業株式会社	プラスチック機械部会
津田 和則 殿	象印チエンブロック株式会社	運搬機械部会
寺垣 彰夫 殿	株式会社荏原製作所	風水力機械部会

藤原 等 殿	前・月島機械株式会社	化学機械部会
室岡 猛 殿	協和化工株式会社	風水力機械部会

4. 団体生産物賠償責任保険（P L 保険）の提供

2018年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL保険）の募集を実施し円滑な運営に努めると共に、2019年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 全国産業機械野球大会及び産業機械テニス大会等の福利厚生事業

（1）第 65 回全国産業機械野球大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1954（昭和 29）年から毎年開催しており、全日本実業団野球連盟、日刊工業新聞社、日本工業新聞社、スポーツニッポン新聞社の後援のもと、2018 年 5 月 26 日、6 月 2 日の 2 日間、東京薬業健康保険組合総合運動場（埼玉県和光市）において開催した。なお、参加は 6 チームであった。

優 勝	株式会社 I H I	（紅龍旗争奪）
準優勝	J F E プラントエンジ株式会社	（蒼龍旗争奪）
第 3 位	株式会社電業社機械製作所	（白龍旗争奪）
第 3 位	ダイキン工業株式会社	

また、当大会の優勝チームを、全日本実業団野球連盟主催の東京ドームで開催される第 69 回実業団野球全国大会（紅龍旗争奪）、準優勝チームを第 72 回実業団野球業種別東京大会（蒼龍旗争奪）及び第 3 位のうち 1 チームを第 67 回実業団野球東京大会（白龍旗争奪）へそれぞれ産業機械業界代表として推薦した。

（2）第 59 回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960（昭和 35）年から毎年開催しており、日刊工業新聞社、日本工業新聞社の後援のもと、2018 年 9 月 1 日に三菱重工業株式会社桜ヶ丘コート（東京都大田区）において開催した。なお、参加は 7 チームであった。

優 勝	千代田化工建設株式会社
準優勝	三菱重工業株式会社
第 3 位	オルガノ株式会社

（3）2018 年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年 2 回会長杯ゴルフ大会を開催しており、2018 年度の優勝者は次のとおりであった。

- ア．第1回 2018年5月18日 小金井カントリー倶楽部
 優勝 庄野 勝彦 殿 一般社団法人日本産業機械工業会
 イ．第2回 2018年11月16日 廣野ゴルフ倶楽部
 優勝 川上 孝行 殿 新東工業株式会社

6. 当工業会創立 70 周年記念事業の実施

当工業会は、1948年6月17日に創立され、2018年に創立70周年を迎えた。2018年5月17日開催の記念式典を始めとする各種記念事業を実施した。

(1) 創立 70 周年記念式典並びに祝賀パーティ

ホテルオークラ東京において、2018年5月17日に次の通り開催した。

ア．記念式典（午後3時～3時45分・メイプルルーム）

a．次第

- ①開会の辞
- ②記念事業実行委員長あいさつ
- ③会長式辞
- ④経済産業大臣表彰状授与
- ⑤永年役員への会長感謝状贈呈
- ⑥永年功労会員への会長感謝状贈呈
- ⑦事務局永年勤続者への会長表彰状贈呈
- ⑧来賓祝辞

経済産業省 世耕 弘成 殿

⑨閉会の辞

b．大臣表彰等関係者名簿（五十音順 敬称略）

①経済産業大臣表彰状（5名）

石垣 真	株式会社石垣	取締役社長
佐上 龍紀	三國重工業株式会社	取締役会長
笹倉 敏彦	株式会社ササクラ	取締役社長
辻本 治	株式会社鶴見製作所	取締役社長
平山 正之	新東工業株式会社	相談役

②会長感謝状

（永年役員 11 名）

岡本 幸憲	東邦地下工機株式会社	取締役社長
甲斐 敏彦	日機装株式会社	取締役社長
鬼頭 芳雄	株式会社キトー	取締役社長
高津 悟	株式会社川本製作所	取締役社長

高橋 祐二	三浦工業株式会社	取締役会長
司城 武洋	協和化工株式会	取締役相談役
壺田 貴弘	アネスト岩田株式会社	取締役社長
平川 晋一	株式会社ヒラカワ	取締役社長
平川 幸知	株式会社三井三池製作所	取締役社長
古川 実	日立造船株式会社	相談役
山田 和彦	月島機械株式会社	取締役社長
(永年功労会員 111 社)		
株式会社 I H I		アイナックス稲本株式会社
株式会社アサヒ製作所		アネスト岩田株式会社
株式会社新井製作所		株式会社アンレット
株式会社池貝		株式会社石井鐵工所
株式会社石垣		株式会社井上製作所
株式会社宇野澤組鐵工所		宇部興産機械株式会社
株式会社エヌエルシー		N O K 株式会社
株式会社荏原製作所		株式会社荏原風力機械
株式会社大倉製作所		株式会社大阪送風機製作所
オルガノ株式会社		株式会社加地テック
川崎重工業株式会社		株式会社川本製作所
株式会社氣工社		株式会社キトー
木村化工機株式会社		協和化工株式会社
近畿工業株式会社		株式会社クボタ
倉敷紡績株式会社		株式会社栗田機械製作所
栗田工業株式会社		株式会社栗本鐵工所
株式会社クロセ		株式会社神戸製鋼所
コトブキ技研工業株式会社		株式会社櫻製作所
株式会社ササクラ		三機工業株式会社
三和ハイドロテック株式会社		J X エンジニアリング株式会社
J F E エンジニアリング株式会社		J F E プラントエンジ株式会社
株式会社島津製作所		集塵装置株式会社
株式会社神鋼環境ソリューション		新興プランテック株式会社
新東工業株式会社		新日鉄住金エンジニアリング株式会社
新日本造機株式会社		新明和工業株式会社
住友重機械ギヤボックス株式会社		住友重機械工業株式会社
西部電機株式会社		象印チエンブロック株式会社
ダイキン工業株式会社		大同機械製造株式会社
株式会社ダイフク		大平洋機工株式会社
太洋マシナリー株式会社		株式会社高尾鉄工所
株式会社タクマ		株式会社田邊空気機械製作所
株式会社タンケンシールセーコウ		千代田化工建設株式会社

月島機械株式会社
株式会社鶴見製作所
テラル株式会社
株式会社東亜利根ボーリング
東芝機械株式会社
東邦地下工機株式会社
トーヨーカネツ株式会社
株式会社豊田自動織機
株式会社中山鉄工所
日機装株式会社
日本コンベヤ株式会社
株式会社日本製鋼所
日本フローサーブ株式会社
株式会社日立製作所
株式会社ヒラカワ
古河機械金属株式会社
ホソカワミクロン株式会社
三國重工業株式会社
株式会社三井E & Sホールディングス
三菱化工機株式会社
三菱電機株式会社
村田機械株式会社
株式会社明治機械製作所
ラサ工業株式会社

株式会社椿本チエイン
株式会社寺田ポンプ製作所
株式会社電業社機械製作所
株式会社東京洗染機械製作所
株式会社T O S E I
東洋機械金属株式会社
トーヨーコーケン株式会社
株式会社西島製作所
日揮株式会社
株式会社ニッチ
日本スピンドル製造株式会社
日本ピラー工業株式会社
パナソニックエコシステムズ株式会社
日立造船株式会社
株式会社富士コンプレッサー製作所
北越工業株式会社
株式会社前川工業所
三井精機工業株式会社
株式会社三井三池製作所
三菱重工業株式会社
株式会社ミツヤ送風機製作所
明治機械株式会社
株式会社よしみね

c. 事務局永年勤続表彰（6名）（五十音順 敬称略）

岡田 雅規	片岡 功一
川元 由紀	北河 敏之
高村 直樹	八巻 智絵

イ. 祝賀パーティ（午後5時30分～7時・アスコットホール）

祝賀パーティは、定時総会（午後4時～5時15分：オーチャードルーム）終了後の懇親パーティと合同で開催した。

（2）記念出版

ア. 「70年のあゆみ」の刊行（2018年5月17日）

イ. 会誌「産業機械」表紙デザインの変更（2018年1月号より）

（3）その他

ア. 工業会webサイトのデザイン等の変更

イ. 全国産業機械野球大会の大会旗の更新

8. 東日本大震災、熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）等に係る復旧・復興への支援・協力

経済産業省の要請による復旧・復興に向けた機材等の提供について会員企業に対して呼びかけを行う等、当工業会として最大限、でき得ることに取り組んだ。

一般社団法人 日本産業機械工業会

本 部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電 話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

F A X 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電 話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

F A X 大阪 (06) 6363-3086 番
